

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
5	14	長 田 忠 広	<p><u>認知症対策について（第6期岩沼市高齢者福祉計画から）</u></p> <p>1. 早期診断・早期対応から</p> <p>(1) 認知症を早期に診断することが大切である。これまでも早期診断等について質問してきた。そこで、これまでの早期診断の取組を伺う。</p> <p>(2) 医療・介護の専門家からなる「認知症初期集中支援チーム」を早期に設置し、初期診断後のサポート体制を構築してはどうか伺う。</p> <p>2. 認知症相談体制の充実から</p> <p>(1) 国が平成30年度から全ての市町村で実施を目指している「認知症地域支援推進員」の岩沼での取組状況を伺う。</p> <p>3. 地域での支援の強化から</p> <p>(1) 企業等と提携し、地域での見守り体制を構築してはどうか伺う。</p> <p>(2) 認知症サポーターを充実させるため、小学生を対象にした認知症サポーター養成講座を実施してはどうか伺う。</p> <p>4. 家族等への支援の強化から</p> <p>(1) 介護者が自由に集い合える場を地域包括支援センター区に1つずつ設置してはどうか伺う。</p> <p>(2) はいかい高齢者位置探索システム機器貸与とともに、埼玉県志木市が行っているような「見守りSOSステッカー交付事業」を導入してはどうか伺う。</p>	市長 教育長
6	7	布 田 恵 美	<p><u>安心・安全な地域生活のために</u></p> <p>1. 岩沼市環境基本計画（案）について</p> <p>(1) 「快適な環境の創造」について、市内幹線道路の街路樹整備はどうなっているのか。</p> <p>① 現在、街路樹の剪定計画はどうなっているのか。</p> <p>② 地域の方から清掃作業対応の相談の声は届いていないか。</p> <p>③ 今後の中心市街地の人口推移は、ますます高齢化が進むと予測される。地域の方々から清掃活動に参画していただくとすれば、管理の点から成長の緩やかな樹木への植えかえも視野に入</p>	市長

(続)	7	布田 恵美	<p>れて計画してはどうか。</p> <p>(2) 「安全な生活環境の確保」について、雨水の流出抑制及び浸水被害の軽減策として、自宅への雨水貯留タンク設置の助成金制度が始まって間もなく1年となる。その成果をどのように検証しているのか。</p> <p>① これまでの周知はどのように行ってきたのか。</p> <p>② 雨水貯留タンク設置のメリットを広く知らせる機会を持つと同時に多くの市民が利用する公共施設、学校、幼稚園などの教育施設に掲示パネルとともに率先して設置してはどうか。</p> <p>(3) 「地球環境問題への貢献」について</p> <p>① 環境配慮型事業者の認定数を40件にふやす、という目標値を聞いているが、具体的にどのように進めていくのか。</p> <p>② 市民バス年間利用者数を16万人にふやす、という目標値を聞いているが、具体的にどのように進めていくのか。</p> <p>③ 市民から、市民バスをラッピングバスに仕立てて企業からの広告収入につなげてはどうか、という声や、子どもたちの絵画を取り入れてはどうかとの提案もあるが、検討してはどうか。</p> <p>④ 地球温暖化の対策、省エネルギーの取組として、自治体あげてのエコ活動、例えば市民にゴーヤの苗を配布して家庭での栽培を通じて意識を高めてもらう取組、(仮称)緑のカーテンプロジェクトを行ってはどうか。</p> <p>(4) 「環境共生社会の醸成」について</p> <p>① 環境保全活動に関わる団体の中には構成するメンバー個々での活動、早朝に市内でたばこの吸い殻、空き容器の回収に当たる方もいると聞く。個人収集者のネットワークづくりも取り組んではどうか。</p>	市長
7	8	酒井 信幸	<p><u>学校給食について</u></p> <p>1. 献立の作成等について</p> <p>(1) 誰が献立を作成するのか。</p> <p>(2) 季節に応じた食材を使用した献立になっているのか。</p> <p>(3) 決定した献立を変更することはあるのか。</p> <p>(4) 給食に使用する食材の値段や在庫について、栄</p>	市長 教育長

(続)	8	酒井信幸	<p>養士と業者とで、確認を取りながら行っているのか。</p> <p>(5) 来年度から消費税が10%に引き上げられるが、給食費の値上げについては考えているのか。</p> <p>2. 学校給食の食物アレルギー対策について</p> <p>(1) 学校給食の食物アレルギー対応が、4月からどのように変わるのか。</p> <p>(2) 学校給食の除去食を提供しなくなることで、食物アレルギーを持つ子どもの保護者へ説明し、理解を得られているのか。</p> <p>(3) 食物アレルギーを持つ子どもへの除去食を提供しなくなった場合、保護者の食費負担がふえないのか。</p> <p>3. 学校給食物資納入業者説明会について</p> <p>(1) 学校給食物資納入業者説明会は、年何回開催されているのか。</p> <p>(2) 学校と業者との意見交換会は行わないのか。</p> <p>4. 学校給食物資納入契約について</p> <p>(1) 市内の納入業者は、何件あるのか。</p> <p>(2) 学校給食物資納入条件を、全ての業者が遵守しているのか。</p> <p>(3) 請求書を翌月10日ころまで学校長に提出し、原則として翌月の末日までに振り込むとあるが、実際には期日が守られていないと聞いた。業者への支払いはどうなっているのか。</p>	市長 教育長
8	10	渡辺ふさ子	<p><b>被災者対策</b></p> <p>1. 東日本大震災の被災者の医療・介護一部負担金免除措置を平成28年度も継続すべきではないか。</p> <p><b>子ども医療費助成事業</b></p> <p>1. 「10月1日から保護者の所得制限の限度額を見直し、対象者を拡大したい」と市長から施政方針があった。日本共産党はこれまで、所得制限の撤廃及び限度額の引き上げを何度も要望してきており、大いに歓迎するものである。内容を伺う。</p> <p>(1) 限度額はどうなるのか。</p> <p>(2) 対象者は何人ぐらいふえるのか。</p> <p>(3) 対象外になるのは何人ぐらいか。</p> <p>2. 少子化対策として、今後、さらに所得制限の撤廃に向け、検討を進めてはどうか。</p> <p><b>高齢者対策</b></p> <p>1. 「介護保険法の改正に伴う（要支援認定者への）介</p>	市長  市長  市長

<p>(続)</p>	<p>10</p>	<p>渡辺ふさ子</p>	<p>護予防訪問介護及び介護予防通所介護の予防給付については、10月から市が行う新しい総合事業での実施を目指し、移行の準備を進めてまいります」と市長が施政方針で述べ、第6期岩沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画には、それぞれ現行の訪問介護・通所介護を移行すると示している。利用者にとって不都合などはないのか。</p> <p>(1) 訪問介護では、「予防給付で既にサービスを利用している方を対象として、サービスの利用の継続が必要な場合、訪問介護員による身体介護、生活援助を行います。」となっている。新たな要支援認定者は対象にならないのか。</p> <p>(2) 通所介護では「予防給付で既にサービスを利用している方を対象として、サービスの利用の継続が必要な場合、通所介護と同様のサービスを行い、生活機能の向上のための機能訓練を行います。」となっている。新たな要支援認定者は対象にならないのか。</p> <p>(3) 通所介護ではさらに「集中的に生活機能の向上のトレーニングを行うことで改善・維持が見込まれる方を対象にしています。」となっている。対象者が狭められるのではないのか。</p> <p>2. デマンド型交通システムの導入について</p> <p>(1) 高齢者に優しく、便利で効率的な交通方式であるデマンド型交通システムについての見解を伺う。</p> <p>(2) 公共交通機関を利用して外出することが困難な方に対し、買い物や病院等への移動支援が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(3) 足や目などに支障のある方、バス停の遠い方などから、市民バスが利用しにくい、利用できないとの声が寄せられている。デマンド型交通システムの導入を検討してはいかがか。</p>	<p>市長</p>
------------	-----------	--------------	---	-----------